

## 2020年度 三井ゴールデン・クラブ賞 表彰選手

セントラル・リーグ投票権保有者数 311名

有効投票者数 300名  
無効投票者数 0名

<b>[投手]</b> (有資格者 30名)	◎ <b>菅野 智之</b> 大野 雄大 西 勇輝 森下 暢仁 祖父江 大輔 三嶋 一輝 セ・リーグ投手該当者なし	<b>読売ジャイアンツ</b> 中日ドラゴンズ 阪神タイガース 広島東洋カープ 中日ドラゴンズ 横浜DeNAベイスターズ	<b>107 票</b> 82 票 57 票 52 票 1 票 1 票 0 票	<b>2年ぶり4回目</b>
<b>[捕手]</b> (有資格者 6名)	◎ <b>梅野 隆太郎</b> 木下 拓哉 大城 卓三 會澤 翼 戸柱 恭孝 セ・リーグ捕手該当者なし	<b>阪神タイガース</b> 中日ドラゴンズ 読売ジャイアンツ 広島東洋カープ 横浜DeNAベイスターズ	<b>136 票</b> 117 票 17 票 4 票 2 票 24 票	<b>3年連続3回目</b>
<b>[一塁手]</b> (有資格者 8名)	◎ <b>D. ピンエド</b> 村上 宗隆 J. ロペス 中島 宏之 堂林 翔太 セ・リーグ一塁手該当者なし	<b>中日ドラゴンズ</b> 東京ヤクルトスワローズ 横浜DeNAベイスターズ 読売ジャイアンツ 広島東洋カープ	<b>194 票</b> 35 票 34 票 5 票 2 票 30 票	<b>初受賞</b>
<b>[二塁手]</b> (有資格者 5名)	◎ <b>菊池 涼介</b> 吉川 尚輝 山田 哲人 阿部 寿樹 セ・リーグ二塁手該当者なし	<b>広島東洋カープ</b> 読売ジャイアンツ 東京ヤクルトスワローズ 中日ドラゴンズ	<b>283 票</b> 8 票 6 票 3 票 0 票	<b>8年連続8回目</b>
<b>[三塁手]</b> (有資格者 5名)	◎ <b>高橋 周平</b> 岡本 和真 宮崎 敏郎 大山 悠輔 堂林 翔太 セ・リーグ三塁手該当者なし	<b>中日ドラゴンズ</b> 読売ジャイアンツ 横浜DeNAベイスターズ 阪神タイガース 広島東洋カープ	<b>144 票</b> 112 票 20 票 17 票 1 票 6 票	<b>2年連続2回目</b>
<b>[遊撃手]</b> (有資格者 8名)	◎ <b>坂本 勇人</b> 京田 陽太 大和 A. エスコバー 木浪 聖也 田中 広輔 セ・リーグ遊撃手該当者なし	<b>読売ジャイアンツ</b> 中日ドラゴンズ 横浜DeNAベイスターズ 東京ヤクルトスワローズ 阪神タイガース 広島東洋カープ	<b>245 票</b> 47 票 3 票 2 票 1 票 1 票 1 票	<b>2年連続4回目</b>
<b>[外野手]</b> (有資格者 17名)	◎ <b>鈴木 誠也</b> ◎ <b>大島 洋平</b> ◎ <b>青木 宣親</b> 丸 佳浩 近本 光司 松原 聖弥 梶谷 隆幸 佐野 恵太 山崎 晃大朗 西川 龍馬 武田 健吾 長野 久義 セ・リーグ外野手該当者なし	<b>広島東洋カープ</b> <b>中日ドラゴンズ</b> <b>東京ヤクルトスワローズ</b> 読売ジャイアンツ 阪神タイガース 読売ジャイアンツ 横浜DeNAベイスターズ 横浜DeNAベイスターズ 東京ヤクルトスワローズ 広島東洋カープ 中日ドラゴンズ 広島東洋カープ	<b>245 票</b> <b>176 票</b> <b>132 票</b> 119 票 99 票 50 票 40 票 10 票 8 票 7 票 1 票 1 票 12 票	<b>2年連続4回目</b> <b>3年連続8回目</b> <b>9年ぶり7回目</b>

## &lt;選考基準&gt;

投手: 規定投球回数以上投球していること、またはチーム試合数の1/3以上登板。  
捕手: チーム試合数の1/2以上捕手として出場。  
内野手: チーム試合数の1/2以上1つのポジションの守備についていること。  
外野手: チーム試合数の1/2以上外野手として出場。  
(注)◎印は表彰選手、投票数右は受賞回数。本賞は1972年に第1回が行われ、本年度は49回目。

## &lt;補足説明&gt;

本年度のチーム試合数の1/3以上は40試合以上、1/2以上は60試合以上となります。

※本賞に関しまして報道いただく際は、正式名称「三井ゴールデン・クラブ賞」と報道いただきますようお願いいたします。